

かわねほんちよう

議会だより

お水をありがとラ。。。

第68号

令和4年11月発行
発行/川根本町議会
編集/議会広報委員会



災害に会われた多くの町民の皆様にも、心からお悔みとお見舞いを申し上げます。

台風15号で断水になり、給水を受ける水川地区の方々



川根本町議会

令和3年度一般会計、特別会計決算を認定	2~3
令和3年度決算特別委員会審査報告	4~5
議員現地調査報告、7,8月臨時会、討論	6
9月定例会、討論	7
第一常任委員会審査報告、賛否が分かれた議案一覧表	8
町立学校設置条例一部改正、討論	9
6人の議員が町政を問う	10~15
議会のごでき、議員定数等特別委員会報告・12月議会予定	16

令和3年度 一般会計・特別会計決算を認定

(認定第1号) (認定第2号～第7号)

9月議会定例会では令和3年度の一般会計及び6事業の決算認定について、決算特別委員会に付託し、9月27日本会議において委員長報告の後に決算認定議案7件の起立採決を行い認定いたしました。

会計別の決算

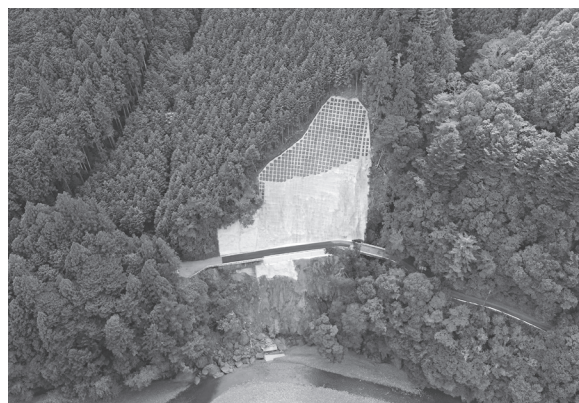
川根本町は一般会計の他に6つの特別会計をもち、事業を行っています。

(単位：千円)

		収 入	支 出	差引残額	支出の前年度との比較
一般会計		6,565,031	5,793,151	771,880	△ 1,258,523
特別 会 計	国民健康保険	883,294	862,447	20,847	18,059
	後期高齢者	127,177	126,896	281	△ 1,854
	介護保険	1,305,963	1,252,736	53,227	△ 1,950
	簡易水道	285,251	266,454	18,797	35,724
	訪問看護	15,632	15,499	133	2,599
	いやしの里診療所	53,261	53,126	135	△ 6,250
	合 計	9,235,609	8,370,309	865,300	



新しく完成した接岨地区集会所 23,650千円



林道寸又線改良工事（設計及び舗装修繕） 4,895千円

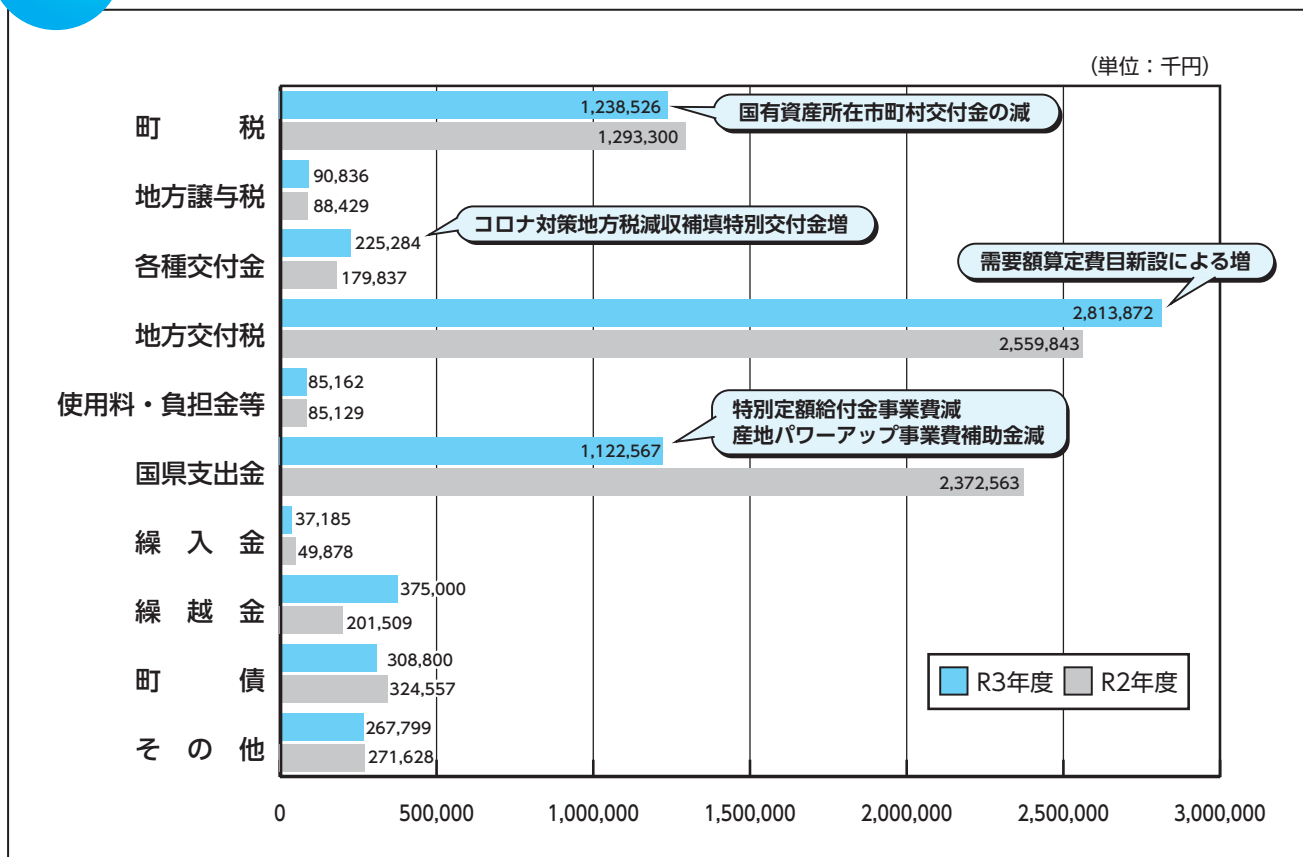


本川根診療所医療機器 4,653千円

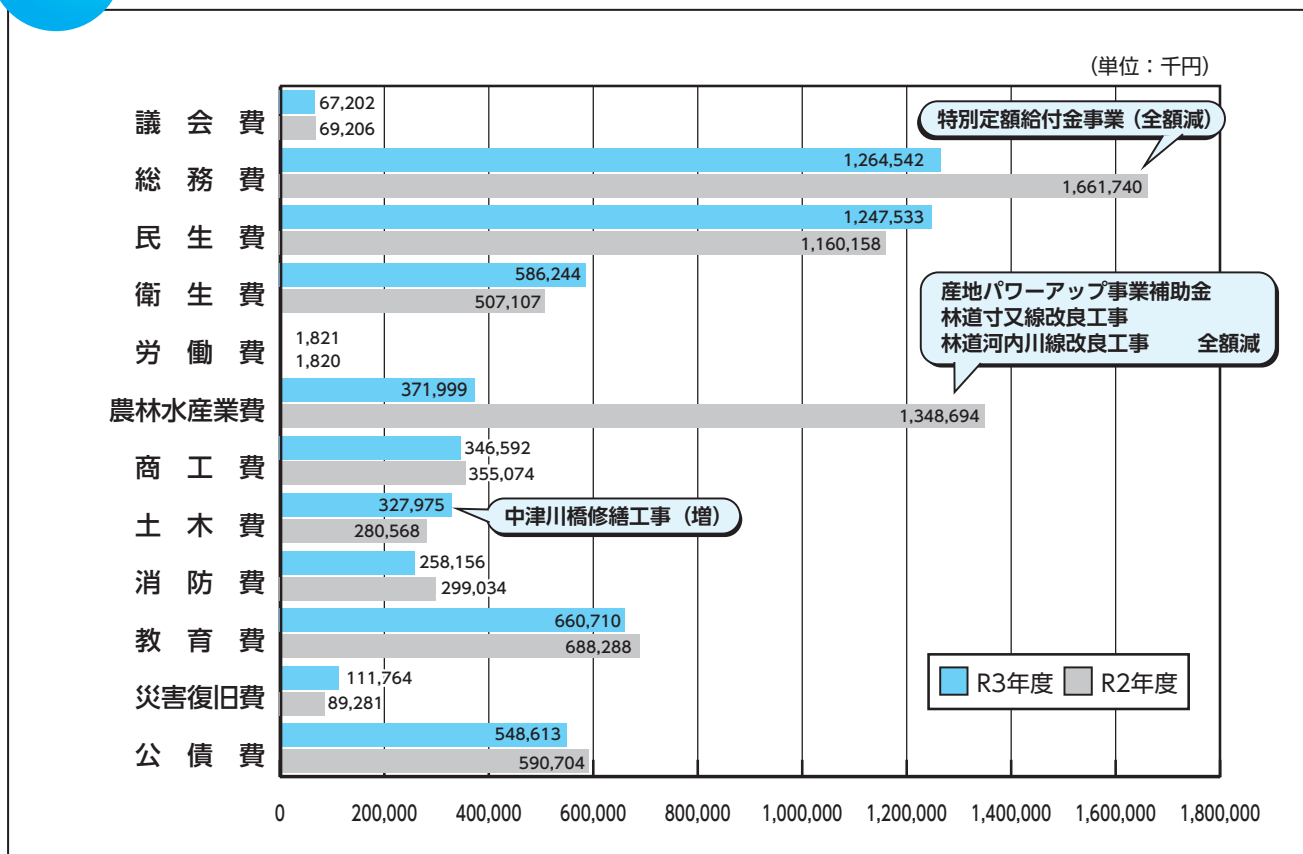


消防指令車 3,432千円

歳入費目別の前年度比較



歳出目的別の前年度比較



決算特別委員会審査の内容をご報告いたします

(審査日 令和4年9月1・5・7日、9月15日現地調査後、委員会採決)

令和3年度川根本町決算特別委員会が、9月1日開催され、委員長石山議員、副委員長澤西議員が互選され、4日間の集中審査を実施した。質疑応答の要旨をご報告いたします。

一般会計

総務課

問 行革委員会開催は。

答 実績は2回だが、回数には、固定されていない。

問 接岨地区集会所業務委託料473万円内容は。

答 調査設計と管理業務費となっている。

問 区の統合。班編成は話題となっているか。

答 地区主導で対応している。班は区の申し出で対応している。

企画課

問 地域おこし協力隊は、専門知識を持つ人材を雇用すべきと考えるが。また、独立し町に残る制度はあるか。

答 ミッションを明確に与える事、受け入れ体制確立で活動しやすく対応している。募集は各課と連携し対応したい。協力隊支援補助金がある。時期に対象者に伝えていく。多種の業務を一人が

複数されるより、特化したほうがいいのではないかと。

問 後継者の育成等話し合い検討していきたい。

会計課

問 現状の資金管理をどう見ているか。

答 世界情勢の変動が大きいため。各関係の意見を聞き対応していく。

くらし環境課

問 デマンドタクシーの町外運行につき確認したい。

答 規程で運行できない。町営バスでの対応は、島田市との調整が必要で、今後検討したい。



おでかけ号

問 桑野山。徳山墓地委託内容は。

答 桑野山は駐車場関連、徳山は木の伐採等である。

問 斎場の計画は。

答 建設後30年ほど経過、今後建設を検討していく。

問 北部には若者住宅が無いが考えているか。

答 新たな施策は考えていない。

問 簡易水道料金値上げの考えは。

答 令和3年に値上げした。中長期試算をし、対応したい。

税務住民課

問 山林の評価額見直しはないか。

答 近隣市町の状況を調査対応している。

問 入湯税の減額理由は。コロナによる影響と考える。

問 中部電力分社化の法人・町民税の影響は。

答 町内事業所は発電部門のみで均等割のみとなった。

問 国民年金申請免除の内訳は。

答 全額免除61人、4分の3免除2人、2分の1免除2人である。

問 不納欠損額内訳は。

答 48万4千円7世帯138件となる。

建設課

問 地籍調査進捗状況、担当職員数は。

答 水川川上流を実施、町全体の7%完了。職員1名が担当。

問 生活関連危険箇所、林道の伐採は。

答 伐採は農林課とも検討していく。

問 林道蓄粒線工事は。上部は直轄治山で施工、道路部分は町で施工した。

高齢福祉課

問 外出支援サービス事業はシルバー人材から高額な大鉄アドバンスに一本化した理由は。

答 安全面を考慮した。デマンドタクシーも連携できて効率が良いと考える。

問 高齢介護サービス費
関連対象者数は。

答 延べ2千人である。

問 訪問看護事業の流れ
を確認する。

答 医療は、主治医の指
示による。介護は主治医、
ケアマネによるプランで
対応している。

健康福祉課

問 民生委員ペアサポー
ター5人の活動内容は。

答 主に見守りである。

問 生がいの湯経年劣
化状況は。

答 外壁、温泉水布設替え
を予定している。

問 腎臓機能障がい者通
院費扶助対象者は。

答 通院者16名、それ以
外14名である。

問 障がい者グループ
ホームの状況は。

答 現在1名利用。検討
者2〜3名という状況。

問 放課後児童クラブは、
県の講習会受講を頂
く。かわね来風に委託、

7名で対応されている。

問 子育て支援施設の一
時預かり対応は。

答 対応していない。要
望多ければ検討する。

農林課

問 農業農村振興対策委
員会の協議内容は。

答 農地利用の在り方、
課題、対策を検討した。

問 森林環境整備実施箇
所の基準は。

答 要望により優先順位
をつけ対応中、所有者責
任がある事も理解された
い。

情報政策課

問 Wi-Fi設置状況は。

答 学校以外町内16カ所
整備、湖上駅ができると
17カ所となる。

問 高速通信関連で前事
業者との賠償関係は。

答 契約不履行分2千万
円の返金があり雑入で処
理した。

問 かわねフォン故障対
応は。

答 故意でなければ町が

修理する。再起動で直る
ケースが多く周知の検討
はしていく。

観光商工課

問 川高生と開発のケー
スは高額だが、東京でな
く地元でできないのか。

答 お土産として改良す
る必要を感じる。

問 観光協会は島田と統
合の考えはないか。

答 検討している。

問 もりのくにの老朽化
の対策は。

答 検討している。

問 音戯の郷をどう考え
るか。

答 予算範囲で工夫し、
入館者の増加策を検討す
る。

教育総務費

問 先進地視察の目的は。

答 福島県大熊町での新
しい学校づくりを学んだ。
公営塾の料金は。

問 月4千5百円で、他
の塾よりかなり安い。

社会教育課

問 県下唯一図書館のな
い町で、その必要性の考
えは。

答 町内図書室連携、県
立図書館との賃借により
ニーズに添えている。

問 町民は学校図書室は
利用できるか。

答 可能で、活用の検討
をしていく。

問 移動図書館車の利用
者年齢層は。

答 高齢者層が中心で子
供利用もある。



本格的な図書館の要望も…

議会事務局

特になし

特別会計

いやしの里診療所事業

問 遠隔診療の数値が伸
びた理由は。

答 本川根診療所が休診
となっていたため、診療
科目を増やしていただい
たのが要因と考える。

**特別会計は、他に国民
健康保険事業・後期高齢
者医療事業・介護保険事
業・簡易水道事業・訪問
看護事業があり、以上に
ついても多くの質疑応答
がありました。紙面の
関係で省略いたします。**



決算特別委員会（採決）の様子

特別会計決算特別委員会現地調査報告

ウッドハウスおろくぼ
屋外M・T設置。トイ
シ等改修工事 管理経費

約1,327万円



もりのくにコテージ
管理棟他空調機器更新
工事 管理運営費

約1,581万円



本川根南部簡易水道青崎
配水池施設工事 工事費

1,400万円



梅高地区河川海岸環境整
備状況 町負担金

1,235万円



まとめ

決算特別委員会は、令和3年度実施した、すべての事業の歳入歳出につき、議長をオブザーバーに、11名の議員を委員として実施。町長、副町長各課課長他担当職員より事業ごと説明を受け、各委員よりの質問や意見等に対し、回答いただいた。集中的に3日間で慎重かつ厳正に審査し、更に現地調査による確認を行い、委員会の採決は9月15日13時より同委員会を開催し行った。

一般会計、簡易水道特別会計の2件で反対・賛成討論があり、賛成多数で認定。他は全て全員賛成で認定された。これにより全決算が本委員会で認定が決定された。

本委員会での審議内容が、次年度予算や町の施策に反映されることを心より期待いたします。

委員長 石山貴美夫

7月、8月臨時会

7月19日、8月18日それぞれ議案1件が上程され、可決した。

番号	件名	概要	審議結果
議案第37号	令和4年度川根本町一般会計補正予算(第4号)	<ul style="list-style-type: none"> ▶肥料購入支援事業 1,650万円 ▶燃油等助成券交付事金(町民1人5千円) 3,400万円 ▶尾呂久保飲料水供給施設建設工事費の増額 3,260万円 	賛成多数
議案第38号	令和4年度川根本町一般会計補正予算(第5号)	中川根学園、本川根学園(仮称)既存校舎改修設計業務委託料410万円	賛成多数

7月臨時会での討論

討論
補正予算内の「原油等助成券交付」についての部分で討論があった。

反対

佐々木直也

全町民に配布であれば、用途をガソリン・灯油に限らず、幅広く使える券にするべきとして反対。

賛成

中澤 莊也

町内経済の活性化と、燃料費の高騰によってガソリン等を特に使う世帯に対する支援と考えるので賛成。

反対

中原 緑

生活基盤の助成というところを観点に入れた場合に、ガソリンと灯油に限らない助成の仕組みを再考すべきとして反対。

賛成

中田 隆幸

検討すべき面はあるが、活性化と燃料を欲しい方にとって非常によいと考えるので賛成。

9月定例会

定例会初日（9月1日）に上程された同意2件・議案9件は、13日に採決が行われ可決し、追加議案2件も27日に可決した。令和3年度決算は決算特別委員会に付託・審査し、27日の本会議にて委員長の報告後採決し、認定した。（認定第1号～第7号の内容は省略。2, 4, 5ページを参照）
尚、9月23日の豪雨災害のため会期が延長され、一般質問は10月20日に6人の議員が行った。

番号	件名	概要	審議結果
同意第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任	神谷晴治氏（上長尾）／任期3年	全員同意
同意第2号	教育委員会委員の任命	山本正和氏（下長尾）／任期4年	全員同意
議案第39号	川根本町犯罪被害者等支援条例の制定	第一常任委員会に付託議案（詳細は8ページ）	全員賛成
議案第40号	川根本町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	非常勤職員が、育児休業法で、育児休業取得回数制限及び育児参加のための休暇の対象機関の拡大等、令和4年10月1日施行	全員賛成
議案第41号	川根本町税条例等の一部を改正する条例	扶養親族申告書の改正に伴う規定の整備で、地方税法上対象となる者に提出義務が追加され、令和6年1月1日施行	全員賛成
議案第42号	川根本町地方活力向上地域における固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例	地方団体は、公益上その他の事由に因り課税免除及び不均一課税とすることができる。固定資産税の税率は、100分の1、4とする。令和4年4月1日より適用	全員賛成
議案第43号	川根本町立学校設置条例の一部を改正する条例	学校再編関連（詳細は9ページ）	賛成多数
議案第44号	令和4年度川根本町一般会計補正予算（第6号）	<ul style="list-style-type: none"> ▶在宅高齢者等配食サービス原材料費負担助成 130万円 ▶町内保育園及び学校給食費食材費高騰対策（保護者負担ゼロに）241万円 ▶町内事業者応援電子クーポン割引（LINE）2,144万円 ▶ホームページデザインリニューアル委託業務 270万円 他 	賛成多数
議案第45号	令和4年度川根本町国民健康保険事業特別会計補正予算	国保情報データベースシステム（未就学児均等割保険料軽減措置）の改修委託料の増額 150万円	全員賛成
議案第46号	令和4年度川根本町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	予算より保険を使わなかったため、国、県、支払基金等に返還（他と合わせ5,300万円）	全員賛成
議案第47号	令和4年度川根本町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	上長尾配水管移設工事費 750万円	全員賛成
議案第48号	工事請負契約の締結	尾呂久保飲料水供給施設新設工事を指名競争入札（1億4千990万円で、梶山組が落札）	全員賛成
議案第49号	令和4年度川根本町一般会計補正予算（第7号）	第76回全国茶品評会で農林大臣賞受賞に伴う茶業推進対策費 170万円	全員賛成

成必要は設は、要とと考え、本認に賛成とする。

賛成

中田 隆幸

水道料金が20%も値上げされた。年金生活者や大量の水を使う子育て世帯や業者には、重い負担となるため反対とする。

反対

大竹 勝子

認定第5号 令和3年度簡易水道特別会計認定

業に對しても注視していく。本認定に賛成とする。

賛成

中原 緑

算認定には反対する。

反対

大竹 勝子

認定第1号 令和3年度一般会計決算認定

第一常任委員会審査報告

(委員長：澤西 省司)
(副委員長：野口 直次)

令和4年9月2日開催された第一常任委員会では、委員会に付託された議案第39号「犯罪被害者等支援条例の制定について」の審議がされた。質疑応答の後、討論なしで採決に入り、全員賛成で可決した。

犯罪被害者等支援条例とは

犯罪被害者等が早期に被害等から回復し、再び日常生活を営むことができるよう、町や町民、事業者、民間支援団体など様々な主体が連携・協力し、町全体で犯罪被害者等を支えあう安全で安心な社会の実現を目指し、「川根本町犯罪被害者等支援条例」を制定した。(令和4年10月1日施行)

条例の制定を契機に、犯罪被害者等に寄り添ったきめ細かい支援を途切れなく提供するとともに、その権利利益の保護が図られる社会の実現に向けた取り組みを推進するものである。

委員会での質疑(抜粋)

問 平成16年に犯罪被害者等基本法が制定されたが、なぜこの時期の制定か。

答 関連機関等との調整ができたため。

問 当町においてはどのようなことを想定しているのか。

答 例えば殺人などにより死亡した者の遺族等に対し、直面している様々な問題について、相談に応じるとともに見舞金も支給していく。

問 ストーカーなどについても含まれるのか。

答 犯罪として認定される場合は、ストーカーやDVも対象となるケースもある。

問 本人が申告しなくても他機関からの情報や申し出により対応するのか。

答 関係機関や民生委員などには、見守りをしてもらうなどの対応が想定される。

問 個人情報情報の漏洩についての対応を確認したい。

答 プライバシーの保護や個人情報情報の保護は最優先に考えていく。

問 見舞金の支給について確認したい。

答 申請書類等に不備がなく、受理した後に支給することになる。

問 交通事故については対象になるのか。

答 過失による交通事故は該当しないが、犯罪行為によるものは該当すると思われる。



もしもの時は相談を。

賛否が分かれた議案

定例会・臨時会	議案番号	件名	中原 緑	中田 隆幸	中澤 莊也	中野 暉	野口 直次	大竹 勝子	石山 貴美夫	澤西 省司	藤田 至	中野 浩和	佐々木直也
令和4年第3回(7月)臨時会	議案第37号	令和4年度川根本町一般会計補正予算(第4号)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和4年第4回(8月)臨時会	議案第38号	令和4年度川根本町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
令和4年第3回(9月)定例会	議案第43号	川根本町立学校設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	議案第44号	令和4年度川根本町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	認定第1号	令和3年度川根本町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	認定第5号	令和3年度川根本町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

※杉山広充議長は、採決に加わりません。

川根本町立学校設置条例の一部改正案を可決



令和4年9月27日定例会で、議案第43号「川根本町立学校設置条例の一部を改正する条例」を審議・議決した。
この改正により、南部地区の3小学校（中川根第一小、中央小、中川根南部小）が再編され、2023年春に新しく中川根小（仮称）が中央小の校舎を活用して開校予定。



議場での質疑(抜粋)

問 (野口直次)

中川根第一小の跡地の教育関連施設の活用の可能性は。また、今ある設備等を活かすことは十分に検討したか。

答 跡地の利用検討委員会を早急に立ち上げ、どういった活用があるのかを含め、対応していく。

問 (大竹勝子)

①改正によって教職員の配置の変化は。②学校数の減少による基準財政需要額の減少はどの程度見込まれるのか。③統合による児童、生徒の平均通学時間の増加は。

答 ①新しい学校への配置は13名から14名の予定。②2年間は学校数減少の影響はなく、3年後以降段階的に補正係数が減少し、6年後には実学校数での算定となる見込み。③第一小側からは約11分、南部小側からは約7分増える。

反対討論

石山貴美夫

令和2年教育総合会議での決定時点で町民の意見を聞き取込む事が必要で、議会にも慎重に諮るべきだった。また、学校を陰に日向に見守ってきた地域住民への配慮不足・義務教育学校2校という原点の理解不足。決めた事とし上からの説明に終始したが、痛みも夢も共に作る空気の醸成が近道。町の大きな選択時は、町民の意向を充分に確認し、意見の醸成を図る事、議会の役割を十二分尊重頂くことを強く訴え反対とする。

賛成討論

中原 緑

この度の学校再編の中では、保護者や児童生徒の心配を、早急に取り除くことを最優先するべきで、教育現場で奮闘されている教職員の方々の状況からも、示された再編計画は早急に対応が必要だと考える。しかし、今、町民の声を聞くことが、またもや後手に回っている。今後は、町が町民の声を正面から聞いていく機会を増やし、教育の中身を一層充実させた学校再編の実施に期待をし、本条例の改正に賛成とする。

反対討論

大竹 勝子

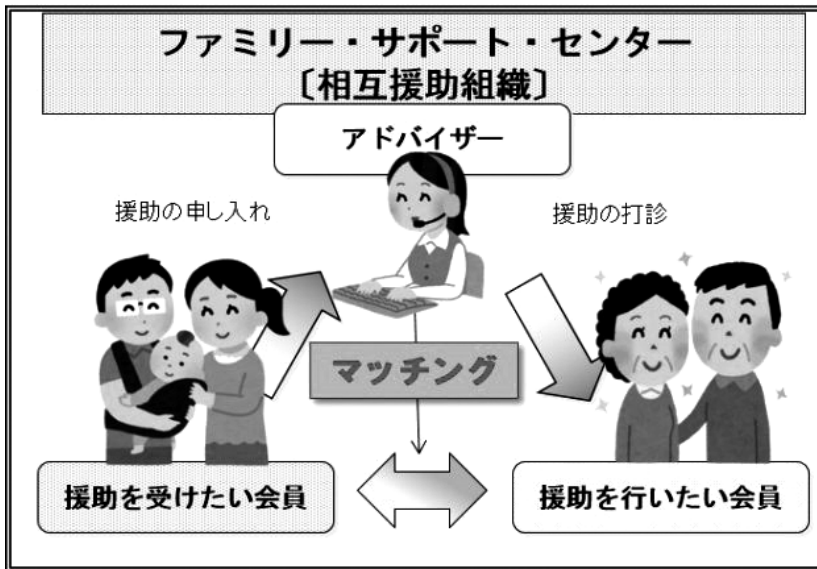
地区住民にとって心の拠り所である学校が無くなるということは、地域の伝統文化などばかりか、地域そのものの存続などにも深刻な悪影響をもたらすのではないか。今は、少子化対策が優先ではないか。今議会での可決は見送り、全町民を巻き込んだ議論を十分に尽くし、大多数の町民・保護者の合意と共通認識をもって本来踏むべき手順を今からでもやり直すことを強く求め反対の討論とする。

賛成討論

中田 隆幸

一番は何を目的にするかというのは、やはり子どもの教育。一番肝心な子どもをよくするために、将来のこの町のために今やる事が大切なことだとの思いから、賛成とする。





利用料金：1時間あたり600円～900円。県内29ヶ所に設置されている。



なか はら みどり
中原 緑 議員

質問 この町だからこそできる教育プランについて

答え ふるさとへの愛着や団結力のある子どもを応援

質問：町民の多くが「なぜ一度ゼロになった計画が急に進む事になったのか」と、疑問を持っているが。

町長：再編に不安を持った子どもや保護者を一日でも早く安心させたい思いから、教育委員会に早期推進の指示を行った。

質問：アンケートによる町民全体の意向調査を、なぜ事前にしなかったのか。

町長：協議会の答申もあって、アンケートは無しに進めたいと思っていた。

質問：町民が主体となる事業は、事前にアンケートを取り意見を聞くことは重要だと考えているか。

町長：必要な時は取っていく。そういう時も来る。

質問：教育プランに、中高一貫教育の充実を提起する。川根高校との関りを具体的にし、中学の部活動との連携体制について伺う。

教育長：進路が多様化するなか、小中学生にとって川根高校が選択の一番真ん中にくる形で連携が進んでいければいい。部活動の交流を深め、魅力ある高校になるよう支援していきたい。

質問 今後の少子化対策、子育て支援体制は

答え サポートセンター創設や一時預り充実を検討

質問：布おむつや、母乳の人もいる。育児用品支援で子育て世代全員を支援してほしいが方法は。

健康福祉課長：育児用品購入費用の助成としてスタートした。保護者にニーズ調査し、充実を図る。

質問：不妊治療費助成の相談件数は。

健康福祉課長：相談は少ないが、町としてPR不足と考え、充実させたい。

質問：不妊治療費が、本年4月から健康保険適用になったが、適用後の治療費助成の考えはあるか。

健康福祉課長：情報収集しながら、自己負担分に対する助成になるのかも含めて検討していく。

質問：ファミリーサポートセンターと、一時預り事業の充実の開始時期は。

健康福祉課長：対象保護者へのニーズ把握と、必要なサービス内容や、できる対応を含め検討する。

質問：出産祝い金に加え、時々の祝い金の見直しは。

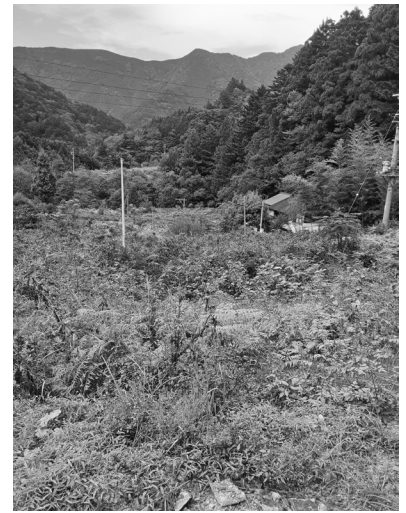
企画課長：松崎町他では継続的な支援をしている。今後の検討課題とする。



なかざわ そうや
中澤 荘也 議員



特定空き家とおぼしき建物の現況



残土処理場建設予定地

質問

町独自で残土処分場を設置する目的・必要性

答え

公共工事を継続的に実施していくために必要

質問：25,000千円という高額な費用を使って用地を取得し、町有の残土処分場を設置しようとする目的、緊急性等は何か。

町長：民間の残土処分場の容量が上限に近づいていることや、今後は処分費の高騰が予測されることから、公共工事を継続的に実施していくために

は、残土処分場の確保は喫緊の課題であると認識している。

質問：農振除外申請、農地法5条申請、県盛土等の規制に関する条例への対応はどのように行っているか。

町長：農用地区域内の農地において、公共工事のために欠くことができない土石の捨場については

県知事の許可申請は不要である。また、盛土に関しては、県盛土等の規制に関する条例の規定により、地方公共団体が行う盛土等は県知事の許可は必要ないことを確認している。ただし、排水等の水対策は、しっかり対応していきたい。

質問

空き家の解体・除去費用への助成を行う考えは

答え

近隣市町の実例等を参考に必要性等を検討する

質問：町内における空き家の数は、564戸にも及ぶ。その中で町の認定基準に基づいて認定された特定空き家の現状と対策等について伺う。

建設課長：川根本町空き家等対策計画に基づき周辺に悪影響を及ぼす恐れのある特定空き家の調査を進めている。また、区か

らの情報収集を行い、ある程度情報が得られたところで職員が全地区を回り、空き家の危険度等を調査・判定していく。空き家に対する今後の対策は、所有者の特定作業を行い、所有者の特定ができたところで意向確認や助言などを実施し、空き家の改善を即していく。

質問：藤枝市等が行っている解体費用の助成や固定資産税の減免を行う考えはないか伺う。

建設課長：解体に係る補助制度はないが、実態の分析をし、必要性を踏まえて検討していく。
税務住民課長：税法に基づきしかるべき対応をしていく。



閑散としている音戯の郷



ふじ いたる
藤田 至 議員

質問 音戯の郷について

答え 施設の存続について早急に検討判断していく

質問：音戯の郷については令和2年3月と12月定例会において、3名の議員が一般質問している。

この質問に対し町の答弁は共通して検討していく必要があると答えている。町長が代わり藺田町長はどのように考え運営していくのか伺いたい。

町長：昨年10月の町長就

任後、行政改革推進委員会を2回開催し施設の在り方を協議、音戯の郷については施設の運営に要する経費や現在の収支状況をふまえ、早急に検討し施設の存続について判断する。

質問：町長が代わったことを契機に、思い切って閉館したらどうか。閉館す

れば毎年2500万円から3000万円の一般財源が浮き他の事業に使えるの要望事項にも少しは応えることができるが。

町長：先ほどの答弁の中で行政改革委員会の中で協議を進め、私自身の判断、皆さんの判断も酌みながら答弁をさせていただいた。

質問 職員の定数管理について

答え 適正な職員数を目指していく

質問：総務省の市町村財政比較分析表による令和2年度の川根本町の定数管理の状況は、千人当たり21・49人、全国平均は8・16人、静岡県平均は8・55人で何と私の町の職員は2・51倍です。人件費、物件費は全国平均14万5817円、静岡県平均14万1159円に對

して、川根本町は39万475円と突出している。

この数値をみて町長は改革が必要と考えるか、強い信念を持って決断、実行していただきよい答弁を期待している。

町長：人口千人当りの職員数は、県平均、全国平均を大きく上回っている。人口規模や高齢化率も同

程度の西伊豆町と比較しても、当町が21・49人に対し、西伊豆町は14・63人で約1・46倍である。合併以降の方針で特に高齢者を対象とした施策や体制を取ってきた、行政サービスを続けて行く中で適正な職員を目指して

いく。他 行政改革について



おお たけ かつ こ
大竹 勝子 議員



中川根南部小学校（今年度で終了となる）

質問 安心してかかれる医療体制が作れないか

答え 早期構築は大変厳しいが、今後も努力したい

質問：夜間子供の急な発熱時は、志太・榛原地域救急医療センターなどへ行かなければならない。町にいつでも安心してかかれる医療機関が欲しい。
町長：4市2町で連携を図り緊急時に備えている。医療体制の早期構築は、大変厳しいが、今後も努力したい。

質問：来年度いやしの里診療所の医師の見通しは。
健康福祉課長：来年度も清水先生に診療頂けるよう調整を図っている。
質問：もう一人常駐の医師を確保し、夜間や救急対応ができる体制を整えて保健センターとしての役割も果たせるような保健師や看護師を配置する

考えはないか。
健康福祉課長：現状では考えていない。今後必要があれば、検討させていただく。
質問：2回目ワクチンを前倒しして早くやらなかった理由は。
健康福祉課長：町内の先生と相談した上で接種させてもらった。

質問 学校再編は立ち止まって考えるべきでは

答え 義務教育学校2校の整備を進め予算計上していく

質問：二つの義務教育学校に再編する計画は、保護者や住民のアンケートを取ったりして、合意が図られるまでいったん立ち止まって考えるべきではないか。
町長：少子化の進展を心配する声が寄せられ、学校のあり方協議会を立ち上げ、議論を重ねた結果

をもとに義務教育学校2校が決まり、来年度の予算に必要経費を計上する。
質問：再編に重要な総合教育会議が、昨年度12月に1回しか行われなかった理由は。
総務課長：3月議会で、予算について様々な議論がおこり、その点も考慮し開催できなかった。

質問：今当町で重要な急がれる課題は、子供を増やすことで、物価高騰の下、学校給食の無償化など子育て支援なら何でもやるという姿勢が必要ではないか。
町長：子育てに関することは大事などころであるため、検討しながら努めていきたい。



立地は町の真ん中、第一小最後の運動会(10月1日)



閑蔵線整備で、観光事業は大きく変わる



いしやま きみお 議員
石山貴美夫

質問 2校開設の課題は。空き校舎の利活用案は。

答え 順調スタートが課題。ご意見も含め委員会です。

質問：教育の大きな転換に、冷静な議論・検証の必要性を訴え、予算を削減し、その後、統廃合を認めた。これで進み始めたが、少子化という厳しい流れの中で、今後の課題を、どう捉えているのか。

町長：義務教育学校開校が、順調にスタートできるかが課題と捉えている。

質問：来年4月には2小学校となる全校生徒で中川根側が120名、本川根側が35名位となるが、**教育総務課長**：進める中で、課題が見えてきた際には、関係者・教育委員会で真摯に取り組んでいく。

質問：廃校となる3校、北小合わせて4校をどう

するのか。
総務課長：検討委員会を設置し、考えていく。
質問：第一小は、町の真ん中、川高・幼稚園等あり特別な立地条件がある教育・生涯教育関連用に別格扱いすべきでは。
総務課長：それらも含め幅広く考えていきたい。
(その他関連質問21問)

質問 知事発言を受け、今こそ閑蔵線要望の声を。

答え あの道は大事だと思う。周辺市と連携で。

質問：県中部縦断道への町の夢である閑蔵線整備について6月議会の私の質問に『思いは同じ、こ

周辺市と慎重に連携してかかりたい。あの道は大事だと思っている。

うご期待』と答弁された。先頃、川勝県知事は、静岡市長にJRへ閑蔵線整備を働き掛けてほしいと注文した事が報道された。今こそ要望の絶好のタイミング、どう動くのか。

質問：観光関連は、流域で島田市・静岡市・井川との連携が重要だが。
観光商工課長：島田市とは流域観光関連事業で、静岡市・井川とはユネスコエコパークや南アルプスアプトライン誘客協議会事業で連携している。

町長：そう思っているが、

質問：災害があった：寸又峡を町はどういう位置付けで基本捉えているか
町長：町の唯一、大事な観光名所と思っている。
質問者：寸又峡・接岨峡は、2大ポイントで集客力がある、売り込む戦略をお願いする。
(他に質問19問)



さ さ き なお や
佐々木直也 議員



コミュニティ・スクール（CS）は町の重要な施策

質問 コミュニティ・スクールの展望は

答え 地域と子供たちの今まで以上の関りを期待

質問：CSについて①町づくりの観点②教育的観点についての展望は。

町長：①町全体を一つの地域として捉え、お互いが今まで以上に積極的に関わり合うことを期待。②地域での多様な体験や関りが、知識や知恵の獲得だけでなく、地域への愛着や感謝、大人への憧

れ等、子供の成長に繋が

るものだと考える。また、地域の皆様の生活の楽しみを生み出すことに繋が

るのではないかと考える。

質問：なぜこのタイミングからのスタートか。

教育長：学校再編に合わせることである。

質問：ディレクターと推進員の選定基準は。

教育長：教育経験者であり、地域の中で色々な活動をされている方である。

質問：本格稼働に合わせた予算の増額の見込みは。

教育総務課長：予算の増額の計画はない。

◎今後、CSが積極的・効率的に機能するようなことであれば是非ご検討いただきたい。

質問 文化会館事業の今後の展望は

答え 町全体の活用、町民の感性の刺激を期待

質問：文化会館事業について①まちづくり観点②教育的観点からの展望は。

町長：①町全体を舞台と捉え、自然景観や観光資源を活かし、交流の場としての活用を期待。②芸術文化体験、世代間・地域間交流を通じて、町民全体の感性を刺激し、将来の可能性が広がるようなプログラムに期待。招

聘したアーティストが子供たちと交流するようない機会をつくっていききたい。

質問：パートナー事業者募集にあたっての基準や条件について、町長は具体的な指示を出しているか。

町長：具体的な指示は出していないが、思いを組み入れてやっていきたいと思っている。

質問：文化会館事業を含む、あらゆる事業において、過去から続く定義を町長が再解釈し、エネルギーを注げない事業についてはやめることを考えてはどうか。

町長：再解釈は必要で、施設のありようを考えていく時期だと思っている。

議会のうごき

7月	4・6日	広報委員会
	11日	議会運営委員会
	12日	議員定数等検討
	12日	特別委員会調査
	12日	水道運営委員会
	15日	榛原地区社会教育 委員連絡協議会研 修会
	19日	臨時会・議運・全 協・広報委員会
	20・21日	決算審査
8月	21日	し尿処理施設運営 委員会
	22日	民生委員推薦会
	25・27日	決算監査
	27日	広報委員会
		川根本町奨学生選 考委員会
	16日	農業振興地域整備 促進対策協議会
	18日	臨時会・議運・全 協・議員定数等特 別委員会
	29日	監査委員決算監査 報告
9月	30日	社会教育施設運営 委員会
	1日	定例会本会議初日
	2日	議運・全協
	5・7日	第一常任委員会
	2日	決算特別委員会
	13日	本会議二日目
	15日	現地調査・採決
	27日	台風15号被災状況 報告・本会議二日目
10月	20日	本会議最終日 (会期延長)

議員定数等特別委員会報告

7月12日(火)特別委員会5人全員とオブザーバーとして杉山議長6名で、議員定数を減員した河津町議会と松崎町議会を訪問した。定数削減に至った経緯、そのメリット、デメリット、委員会の構成員状況、町民の反応、候補者の状況等々、生のご意見等を直接伺う目的で聞き取り調査、意見交換を実施した。

河津町は11人を10人に、松崎町は10人を8人に削減している。

各町共に、様々な事情・

ご意見のなか、決定された経緯を、当事者である議員方に、直にお伺いできた。現実的で厳しいご意見を多々伺った。

委員全員、生のお話を当事者にお伺いできたことで、非常に充実した訪問であった。ご対応下さった各町の町長・議長、議員、事務局の皆様にご心より感謝申し上げます。

意見の一端として『議会活動内容が町民に伝わっていない。』『議員減で町民の声が、町に伝わりにくくなる』『減員で議会力が落ちる面もある。減らすと増員は難しいので慎重



河津町での意見交換の様子

重な検討が必要』『報酬増額で立候補者の若返りをと言うが、4年任期で将来設計、保証は無く難しい。』等々でした。委員会は毎月開催予定。

委員長 石山貴美夫

編集後記

台風15号で災害に会われた方には心よりお見舞い申し上げます。断水を経験し、水のありがたさをつくづく感じました。かつて経験したことのない災害となり、自衛隊の応援や、他市町村からの支援など大変助かりました。

まだまだ続くコロナ禍。国民生活が、少しでも良い方向に向きますように。

大竹勝子

12月定例会の日程

12/1日	木	定例会本会議(9時～ 議場)
		全員協議会(本会議終了後 大会議室)
9日	金	定例会本会議(9時～ 議場)
		全員協議会(本会議終了後 大会議室)
19日	月	定例会本会議(9時～ 議場)
		全員協議会(本会議終了後 大会議室)

○議場・大会議室は、役場本庁3階です。 ○どなたでも傍聴できます。
○日程は変更することもありますので、詳しくは、議会事務局(56-2229)までお問合せください。
○コロナ対策として、議場内の傍聴人数を縮小しておりますが、隣室で傍聴可能です。

ご意見・ご感想をお寄せください。

議会だよりに、読者の声を載せていきたいと考えています。「かわねほんちょう議会だより」の中で気になる記事や、議会に関することなど、町民の方からの声をお待ちしています。ご協力をおねがいします。

募集期間：随時

連絡先 TEL 0547-56-2229
FAX 0547-56-2235
Mail : gikai@town.kawanehon.lg.jp
(川根本町議会事務局)
郵送 : 〒428-0313
静岡県榛原郡川根本町上長尾627
議会事務局内 広報委員会宛